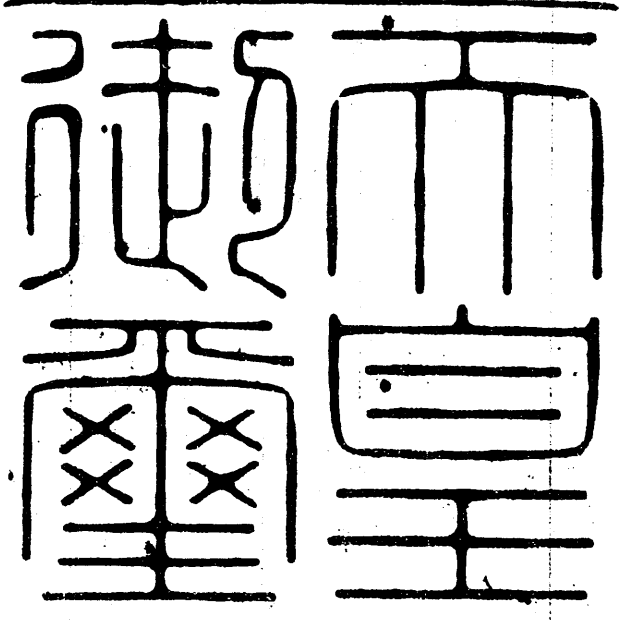


勅令第八百三十五號

朕金屬類回收令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公
布セシム

裕仁



昭和十六年八月二十九日

月

日

内閣總理大臣公爵
 近衛文麿
 鐵道大臣兼
 拓務大臣
 商工大臣
 田有蔵
 豊田貞次郎
 北近司政三

勅令第八百三十五號

金屬類回收令

第一條 國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號）ニ於テ依ル
 場合ヲ含ム以下同ジ）第八條ノ規定ニ基ク回收物件ノ譲渡其ノ
 他ノ處分、使用及移動ニ關スル命令竝ニ國家總動員法第五條ノ
 規定ニ基ク回收物件ノ譲受ニ關スル協力命令ニ付テハ本令ノ定
 ムル所ニ依ル
 第二條 本令ニ於テ回收物件トハ鐵、銅又ハ黃銅、青銅其ノ他ノ
 銅合金ヲ主タル材料トスル物資ニシテ閣令ヲ以テ指定スルモノ
 ヲ謂フ
 第三條 閣令ヲ以テ指定スル施設ニ備附ケタル回收物件（以下指

定施設ニ於ケル回收物件ト稱ス）ニシテ閣令ヲ以テ指定スルモノヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者ハ當該回收物件ニ付譲渡其ノ他ノ處分ヲ爲シ又ハ之ヲ移動スルコトヲ得ズ但シ商工大臣ノ指定スル者（以下回收機關ト稱ス）ニ譲渡スル場合及命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 商工大臣ハ地域ヲ限リ其ノ地域内ノ指定施設ニ於ケル回收物件ニシテ前條ノ規定ニ依リ閣令ヲ以テ指定スルモノ以外ノモノヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者ニ對シ一般的ニ當該回收物件ノ譲渡其ノ他ノ處分又ハ移動ヲ制限スルコトヲ得

第五條 地方長官ハ回收物件ノ所有者ニ對シ期限ヲ指定シテ回收機關ニ當該回收物件ノ譲渡ノ申込ヲ爲スベキコトヲ勸告スルコ

トヲ得

第六條 指定施設ニ於ケル回收物件ニシテ第三條ノ規定ニ依リ閣令ヲ以テ指定スルモノヲ所有スル者ハ閣令ヲ以テ指定スル期日迄ニ回收機關ニ對シ當該回收物件ノ譲渡ノ申込ヲ爲スベシ但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 商工大臣ハ地域ヲ限リ其ノ地域内ノ指定施設ニ於ケル回收物件ニシテ第三條ノ規定ニ依リ閣令ヲ以テ指定スルモノ以外ノモノヲ所有スル者ニ對シ期限ヲ指定シテ回收機關ニ當該回收物件ノ譲渡ノ申込ヲ爲スベキコトヲ一般的ニ命ズルコトヲ得

第八條 指定施設ニ於ケル回收物件ノ所有者第五條乃至前條ノ規定ニ依リ譲渡ノ申込ヲ爲シタルトキハ當該所有者又ハ當該回收

物件ヲ權原ニ基キ占有スル者ハ回收機關ノ請求ニ應ジ遲滞ナク
當該回收物件ノ引渡ヲ爲スベシ

前項ノ請求アリタル場合ニ於テ當該回收物件ヲ所有シ又ハ權原
ニ基キ占有スル者ハ回收機關ニ對シ當該回收物件ノ撤去又ハ引
取ヲ請求スルコトヲ得

回收機關前二項ノ規定ニ依リ當該回收物件ノ引渡ヲ受ケタルト
キハ受領證書ヲ作り引渡ヲ爲シタル所有者又ハ占有者ニ之ヲ交
付スベシ

第九條 撤去費其ノ他回收物件ノ引渡ニ要スル費用及修理費ハ回
收機關ノ負擔トス

回收物件ノ用途又ハ備附ノ狀況ニ鑑ミ特ニ代替物件ノ備附ヲ必

要トスル場合ニ於テ代替物件ノ價額ト其ノ備附ニ要スル費用ト
ノ合計額ガ當該回收物件ノ價額ヲ超ユルトキハ前項ノ費用ノ外
其ノ超過分ハ回收機關ノ負擔トス

前二項ノ規定ニ依リ回收機關ニ於テ負擔スベキ額ハ前條第二項
ノ規定ニ依リ撤去又ハ引取アリタル場合ヲ除クノ外第十條ノ規
定ニ依ル協議又ハ裁定ニ依リ定マル額トス

第十條 回收機關第五條乃至第七條ノ規定ニ依リ指定施設ニ於ケ
ル回收物件ノ所有者ヨリ譲渡ノ申込ヲ受ケタルトキハ命令ノ定
ムル所ニ依リ當該回收物件ノ譲渡價額及前條ノ規定ニ依リ回收
機關ニ於テ負擔スベキ額（第八條第二項ノ規定ニ依ル撤去及引
取ノ費用ノ額ヲ除ク）ニ付遲滞ナク當該所有者又ハ當該回收物

件ヲ權原ニ基キ占有スル者ト協議スベシ此ノ場合ニ於テ協議調
ハザルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ地方長官之ヲ裁
定ス

前項ノ場合ニ於ケル回收物件ノ譲渡價額、前條第一項ノ費用、並
ニ同條第二項ノ代替物件ノ價額及其備附ニ要スル費用ノ基準ハ
商工大臣之ヲ定ム

第十一條 回收物件ニ關シ強制競賣手續、國稅徵收法ニ依ル強制
徵收手續又ハ土地收用法、工場事業場使用收用令、土地工作物
管理使用收用令若ハ總動員物資使用收用令ニ依ル使用若ハ收用
ノ手續其ノ他此等ノ手續ニ準ズベキモノノ進行中ナルトキハ其
ノ進行中ニ限り當該回收物件ニ關シテハ第三條乃至第七條ノ規

定ハ之ヲ適用セズ

第十二條 第六條又ハ第七條ノ規定ニ依リ爲シタル回收物件ノ讓
渡ハ他ノ法令ニ拘ラズ其ノ效力ヲ有ス

第六條又ハ第七條ノ規定ニ依リ譲渡スベキ回收物件ニ付存シタ
ル擔保權ハ他ノ法令ニ拘ラズ當該回收物件ニ付其ノ譲渡ノ時ヨ
リ之ヲ行フコトヲ得ズ

前項ノ場合ニ於テハ當該擔保權者ハ當該回收物件ノ對價トシテ
受クベキ金錢及當該回收物件ニ付第九條第二項ノ超過分トシテ
受クベキ金錢ニ對シ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第十三條 回收機關回收物件ヲ譲受ケタルトキハ商工大臣ノ指定
スル回收機關ニ對シ譲渡スル場合其ノ他命令ヲ以テ定ムル場合

ヲ除クノ外當該回收物件ニ付譲渡其ノ他ノ處分ヲ爲シ又ハ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第十四條 商工大臣ハ個人及法人其ノ他ノ團體ヲシテ回收機關ノ行フ回收物件ノ譲受其ノ他之ニ關聯スル業務ニ協力ヒシムルコトヲ得

第十五條 商工大臣又ハ地方長官ハ回收物件ニ關シ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ回收機關及回收物件ノ所有者其ノ他ノ關係人ヨリ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ當該回收物件ノ所在ノ場所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ當該回收物件、葦簾、帳簿等ヲ檢査ヒシムルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査ヒシムル場合ニ於テ

ハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯ヒシムベシ

第十六條 商工大臣ハ本令ニ規定スル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第十七條 本令中地方長官トアルハ鑛業又ハ砂鑛業ニ屬スル施設ニ關シテハ鑛山監督局長、電氣事業ニ屬スル施設ニ關シテハ遞信局長、地方鐵道又ハ專用鐵道ニ屬スル施設ニ關シテハ鐵道局長トス

遞信局長又ハ鐵道局長本令ニ規定スル事務ヲ行フ場合ニ於テハ商工大臣ノ指揮監督ヲ承ク

第十八條 本令中商工大臣トアルハ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長

官トシ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事（電氣事業ニ關
スル施設ニ關シテハ朝鮮總督府遞信局長、私設鐵道又ハ專用鐵
道ニ屬スル施設ニ關シテハ朝鮮總督府鐵道局長）、臺灣ニ在リ
テハ州知事又ハ廳長（電氣事業又ハ私設鐵道ニ屬スル施設ニ關
シテハ臺灣總督府交通局總長）、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、
南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トス

附 則

本令ハ昭和十六年九月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太又
ハ南洋群島ニ在リテハ昭和十六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス